

茶屋之町 特別号 自治会だより No.76

令和 8 年 9 月 20 日号
発行者: 茶屋之町自治会

エリアプラットフォーム活動報告特別号

令和 4 年から始まった「エリアプラットフォーム」は、今年で 4 年を迎えました。
令和 8 年 7 月からは、新たな体制のもとで活動をスタートしています。
この節目を機会に、これまでのエリアプラットフォームの活動を振り返り、今まで取り組んできた内容や成果をご紹介します。

新しい「まちづくり」が始まります

今年から官民連携（住民・自治会・事業者・芦屋市など）で道路や公園などを使った新しい「まちづくり」を始めます。

あしやAP（エリアプラットフォーム）が様々なことに挑戦していきます。

自分たちの新しい「まちづくり」を一緒に進めていきましょう！

あしやAP（エリアプラットフォーム）って？

GOODな芦屋のミライをディスカッションするチーム。
茶屋之町・大榎町・公光町・業平町・宮塚町・上宮川町にある公共空間（道路や公園など）や民間施設の新しい使い方を作戦会議していきます！

何を指すの？

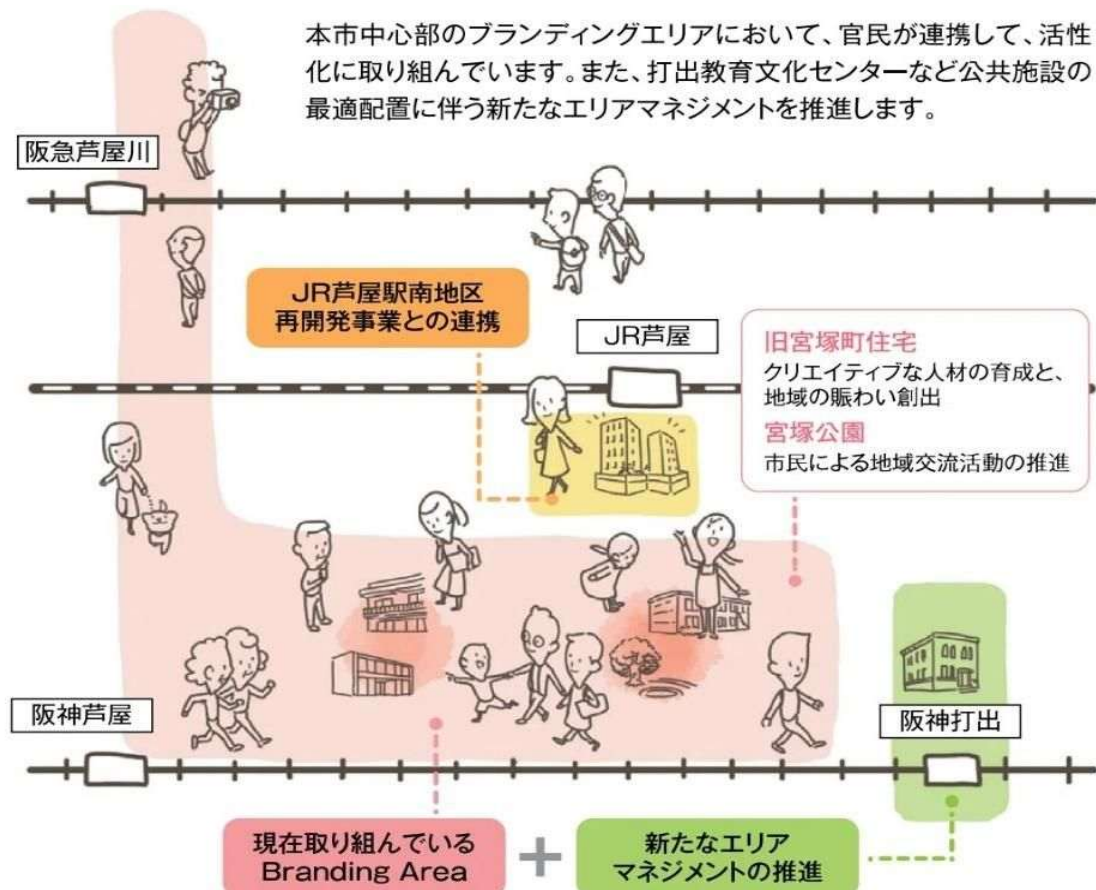
官民の多様な主体が交流し、新たな価値を創出するエリアをつくります。（エリアブランディング）

これまで、茶屋秋まつり・七夕フェスタなど、空間の使い方を社会実験として取り組みました。
これからは、歩行者天国など、地域による空間活用を考えます！

「まちの賑わい」と「まちの将来ビジョン創出」を目的とした『AP(エリアプラットフォーム)』について

芦屋市の「第二期創生総合戦略」で人口減少の緩和／まちの魅力UPが掲げられ、地域における良好な環境を維持向上させるため、住民／行政／事業者による取り組みを始めました。あくまで住民主体。

APの活動の対象となるブランディングエリアのイメージ図



AP の目標

- ★30年後のまちのビジョンづくり ・ワールドカフェ形式で意見交換
このエリアの魅力、課題、今後のありたい姿等いろいろな視点から意見を交換
- ★まちの賑わい創出
上宮川、業平、宮塚、茶屋、大榎、公光 6 町を「ブランディングエリア対象地域」と位置づける。地域の賑わい創出の一環として「歩行者天国」「七夕フェスタ」「秋まつり」など開催(後述)しました。

本事業の活動の基本コンセプト

「30年後のまちづくり 子どもが主演、大人が助演」

将来のまちづくりを担う子供たちの意思を最大限に尊重し、大人（市民と事業者）がその実現を支援する。市役所は最大の応援団。

AP会議の開催内容

1	R6.7.11	23名	ワールドカフェ「芦屋の好き・嫌いなところ」
2	R6.8.8	30名	秋まつりの調整 ワールドカフェ「若い世代の意見をどう集める？」
3	R6.9.12	42名	秋まつりの調整 ワールドカフェ「こんな公園あったらいいな」
4	R6.10.10	39名	秋まつりの調整 ワールドカフェ「好きな街ってどんな街？」
5	R6.11.7	24名	植物プロジェクトの説明 ワールドカフェ「心地よい街の賑わいとは？」
6	R6.12.12	41名	植物プロジェクトの報告 ワールドカフェ「これからの自治会・事業者会のあり方」
7	R7.1.9	36名	植物プロジェクトの告知 ワールドカフェ「若い世代の意見をどう集める？」
8	R7.2.13	38名	他市の事例紹介(和歌山大学 佐久間先生) さくらイベントの調整
9	R7.3.13	25名	各プロジェクトの報告・連絡 さくらイベントの調整
10	R7.4.10	28名	さくらイベントの報告 ワールドカフェ「街の防災」
11	R7.5.8	29名	各プロジェクトの報告 ワールドカフェ「あなたが思う未来ビジョンとは？」
12	R7.6.12	42名	アンケートプロジェクトの報告(関西学院大学)
13	R7.7.17	30名	各プロジェクトの報告。今後の流れを共有 ワールドカフェ「30年後のまちづくり」
14	R7.8.21	32名	各プロジェクトの報告。今後の流れを共有 ワールドカフェ「芦屋の秘密クイズ」
15	R7.9.11	26名	コトバの花びらPJの報告 先行事例(いけだ AP)視察報告 みんなの秋まつりの進め方
16	R7.10.16	33名	各プロジェクトの報告。今後の流れを共有 ワールドカフェ「あしや AP の目的・体制・取組内容」
17	R7.11.13	23名	各プロジェクトの報告。今後の流れを共有 みんなの秋まつり報告 ワールドカフェ「未来ビジョンに盛り込むアイデア」
18	R8.1.15	33名	未来ビジョンづくりについて 歩行者天国プロジェクトについて 次年度以降について ・エリアプラットフォームの規約・体制
19	R8.2.12	24名	未来ビジョンづくりについて 報告:くるりの庭
20	R8.3.12	24名	未来ビジョンづくりについて お花見ピクニックについて 委託業務 最後のお話・市からの御礼

(出席者)
自治会
事業者会
金融機関
JR
自動車販売
生命保険
大丸
武庫川女子大学
関西学院大学
和歌山大学
市議会議員
芦屋市
行政職員
など

これまで開催された活動の写真紹介

茶屋さくら通り歩行者天国(2023 年から事業者によるライトアップ)

▼2024 年 4 月



オープニングの墓目の儀



満開にはほど遠かったが
ゆっくり楽しめた



見事なライトアップ

▼2025 年 4 月、2026 年 4 月(人工芝を 50 メートル車道に敷詰めた)

子どもたちが計画したキッズドリーム屋台 6 台を自主運営。

願いを記入したコトバの花びらプロジェクトも。



キッズドリーム屋台
のテーマをワークシ
ョップで企画した
子どもたち



左) 2 枚
子どもたちが
企画した
屋台を
運営・管理



(上・下) 市職員と住民で
協力して準備・片付け



左)
見物客がシ
ートを敷い
てくつろぐ

右)
コトバの
花びら

セタフェスタ 2023 年 7 月



左) 茶屋さくら通りの桜の木にセタを飾り付けた後、全員で記念写真

中) サロン・ドゥ・茶屋の婦人たちがセタ準備
右) 武庫川女子大生がこどもたちと共同作業

みんなの秋まつり（茶屋秋まつり） 2024 年 10 月、2025 年 10 月

▼茶屋公園



盛況裡に無事終了！ 全員で記念写真



スーパーボールすくい



オープニングダンス



高島市長が子どもと一緒に



人気のはばたん

▼茶屋さくら通り



茶屋さくら通りでは事業者会が出店



公園で絵本の読み聞かせ

植物プロジェクト（箱をあけるよ！プロジェクト）2024 年～

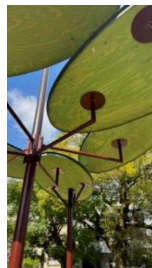
公園の落ち葉を箱に入れてしばらくしてから箱のふたを開け、落ち葉の状況を観察する。落ち葉を混ぜるというだけの催し。コンポストを設置しているのは宮塚公園、大榭公園、公光公園の三箇所。

子どもの参加者数

1 月開催	宮塚	4 名
	大榭	6 名
	公光	1 名
3 月開催	宮塚	8 名
	大榭	12 名
	公光	5 名



くるりの庭（公光公園）



武庫川女子大学院生がデザイン。
新しい施設が出来て公園の使い方がどのように変わるか実験

絵本プロジェクト(市長への贈呈式)



武庫川女子大学生が茶屋之町内を歩いて街の魅力を絵本に。幼稚園で読み聞かせて贈呈、集会所や保育園、診療所、図書館にも寄贈

30 年後のビジョン(10 分の短編映画で)

大学生が「芦屋の未来」をテーマに映画を制作。
『かへるさの空』(約 10 分)
芦屋のこれからを、大学生の視点で描いた作品です。
映画は右の QR コードからご覧いただけます。



短編映画は
コチラ↑

監督からのメッセージ

この映画は未来ビジョンを描くというより、
街に対し、関心を持ってほしいというメッセージ。
あなたが未来のまちを思い浮かべた時、あなたの
住むまちは少しだけそれに近づく。
だから、あなたのまちに関心をもってください。

ワールドカフェの様子

